

## 巖島神社・大鳥居の向きと鬼門

⇒ [お主サイトトップページ](#)

大鳥居の棟の東側には「太陽」、西側には「三日月」の印が見られる。

陰陽道（おんみょうどう）では、鬼門（きもん）は、鬼が出入りする方角で、万事に忌み嫌われる方角とされ、北東＝艮（うしとら・丑と寅の間）の方位にあたる。鬼門封じのため「太陽」を置く。

鬼門は常に艮（うしとら）の方角にある。鬼門とは反対の、南西（坤、ひつじさる）の方角を裏鬼門（うらきもん）と言い、この方角も鬼門同様、忌み嫌われる（煙たがられる）。鬼門封じのため「月」を置く。



宮島 巖島神社 の 鳥居の屋根の両端には、「太陽と月」が描かれている。北東は鬼門のため、東には太陽が描かれ、裏鬼門の西には「月」が描かれ何をすることも避けなければならない鬼門封じの役割を成す。平清盛が巖島神社を作った際に大鳥居の鬼門の方角である北東に太陽を置き、光で邪気を払う意味が込められたといわれる。

宝寿院の不動堂は巖島神社の「艮（うしとら）」にあたることから鬼門の鎮護のために建てられた。

不動堂は大御堂といわれ、巖島神社の東北にあり、鬼門鎮護の霊場です。明治維新の混乱期に本尊の釈迦如来様が持ち去られ、不動明王と毘沙門天のみが残り不動堂と呼ばれるようになった。



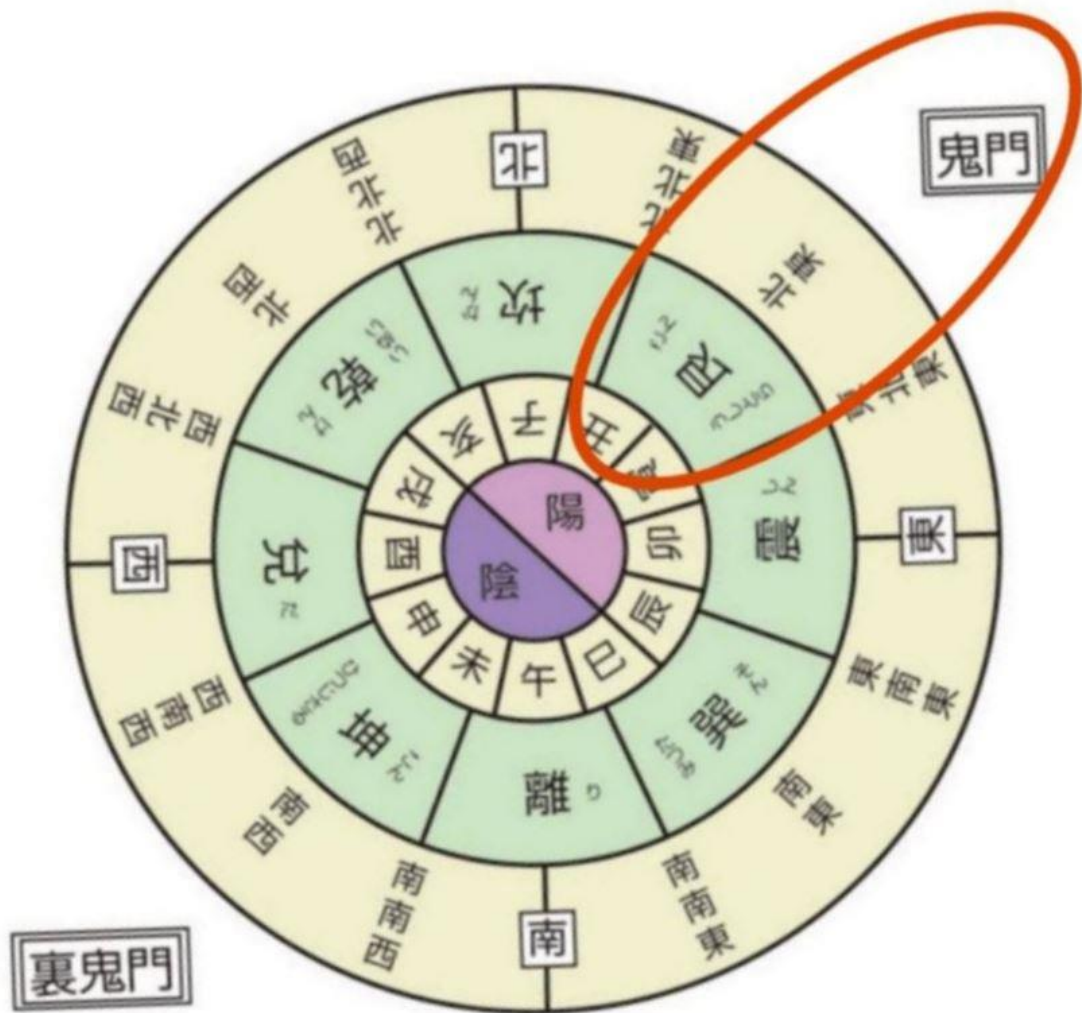
「伊都岐島神社」  
御本社側扁額



「巖嶋神社」  
北側扁額

巖島神社では、弥山の真北の島の海岸に内宮（巖島神社）が位置し、その延長線上の真北に外宮（地後前神社）がおかれている、そしてその真北の山の頂上に 極楽寺が位置する。更にその向こうに北極星が見れる。巖島神社では特に北の方向が重んじられた。

極楽寺の本堂は真南に向いている。即ち地御前神社、巖島神社、弥山に向いている。



(参考) コトバンク 鬼門 (読み) きもん